



2021年10月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2021年9月14日

上場会社名 株式会社 オービス

上場取引所 東

コード番号 7827 URL <http://www.orvis.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中浜 勇治

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 井上 清輝

TEL 084-934-2621

四半期報告書提出予定日 2021年9月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年10月期第3四半期の業績(2020年11月1日～2021年7月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年10月期第3四半期	7,086	4.5	176	34.3	195	11.8	67	48.3
2020年10月期第3四半期	6,779	4.2	269		221		130	60.7

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年10月期第3四半期	38.88	
2020年10月期第3四半期	75.52	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年10月期第3四半期	14,161	3,776	26.7	2,164.93
2020年10月期	14,226	3,728	26.2	2,146.10

(参考)自己資本 2021年10月期第3四半期 3,776百万円 2020年10月期 3,728百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年10月期		0.00		20.00	20.00
2021年10月期		0.00			
2021年10月期(予想)				20.00	20.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年10月期の業績予想(2020年11月1日～2021年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,146	2.9	122	63.9	121	63.4	17	92.8	9.83

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年10月期3Q	1,745,356 株	2020年10月期	1,738,596 株
期末自己株式数	2021年10月期3Q	1,178 株	2020年10月期	1,178 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年10月期3Q	1,740,984 株	2020年10月期3Q	1,734,289 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき算定した見通しであり、今後の経済情勢の変化及び様々な要因によって、実際の業績は予想値と異なる場合があります。業績予想の前提となる仮定等につきましては、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(追加情報)	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間(2020年11月1日～2021年7月31日)のわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が未だ収束せず、一部地域においては、まん延防止等重点措置及び4度目の緊急事態宣言がそれぞれ発出され、業種や地域により社会経済活動が大きく制限される等、極めて厳しい状況で推移いたしました。国内においては、ワクチン接種が本格的に始まったものの、感染力が強い変異株ウイルスの感染者数が増加し、夏季にはコロナ禍におけるオリンピック・パラリンピックの開催に伴う感染リスクの拡大等も懸念され、景気の先行きは不透明な状況が長期化する様相を呈しております。

このような環境のもと、当社は「中期経営計画チャレンジ110(イチイチゼロ)」(2019年11月～2022年10月)において重点課題として設定した「木材事業の通期営業黒字化」「ハウス・エコ事業の鉄骨製作Mグレード認定工場の取得」を軸とする持続的成長に向けた諸施策に引き続き取り組んでまいりました。また、中期経営計画の2年目となる当期は、ITの強化を進め、ペーパーレスやワークフローシステム、新たなWEB会議システム等の導入により、業務の生産性向上や多くの決裁業務の負荷軽減と迅速化に向けて改善を図ってまいりました。

その結果、売上高は70億86百万円(前年同四半期比104.5%)、営業利益は1億76百万円(前年同四半期比65.7%)、経常利益は1億95百万円(前年同四半期比88.2%)となりました。なお、特別損失に減損損失73百万円計上したことにより、四半期純利益は67百万円(前年同四半期比51.7%)となりました。これにより、純資産は前事業年度末の37億28百万円から37億76百万円となり、自己資本比率は26.2%から26.7%となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。営業損益につきましては、全社費用等配分前で記載しております。

(木材事業)

梱包用材等の受注環境は、依然として輸出用大型梱包等の案件が少なく、力強さに欠ける展開が継続し、新型コロナウイルス感染拡大の影響により設備投資には慎重な動きが見られ、厳しさが増しております。また、米国や中国における住宅需要拡大等に伴う世界的な木材の供給不足や価格高騰(いわゆるウッドショック)の影響が春先から顕在化しており、先行きの不透明感は一層深刻となりました。

原材料のニュージーランド産丸太(以下NZ松という。)の価格につきましては、中国が2020年11月から豪州産丸太の輸入停止に踏み切った以降、その代替としてNZ松の購買意欲が一気に高まったことに加え、春先からのウッドショックの影響やコンテナ不足・NZ松丸太輸出港での滞船による船舶運賃の高騰と相まって、当第3四半期に入り過去最高水準まで急激かつ大幅に上昇いたしました。そのため、製品販売価格の改善に注力し、原材料価格の比較的安定している国産杉材の生産比率を引き上げるとともに、生産効率の改善によるコスト削減に努めることで、収益の確保に取り組んでまいりました。

このような環境のもと、既存取引先への深耕営業や販路拡大に対する営業活動が実を結び、また前期より取り組んでまいりました「脱・梱包用材」として杉背板を利用した米国向けフェンス材に加え、CLT材(クロス・ラミネイティド・ティンバー)や建築用ラミナ材向けへの供給を開始するなど、新たな分野のお客様を積極的に開拓してまいりました。

その結果、製商品の出荷量は前年同四半期比23.0%増加し、売上高は48億75百万円(前年同四半期比122.6%)、営業利益は76百万円(前年同四半期比376.0%)となりました。

(ハウス・エコ事業)

公共投資は関連予算の執行により、今後も堅調に推移することが見込まれるものの、民間設備投資は新型コロナウイルス感染拡大の影響により経済活動の停滞や縮小による企業収益の先行き不透明感が強まり、投資計画の見直しや先送りが増加するなど、当面慎重な動きが続くものと予測され、収益環境は依然として厳しい状況で推移いたしました。

このような環境のもと、受注の確保を最優先課題に、既存のお客様との関係を強化し、確かな技術力により新規のお客様の獲得を図り、工品質・原価管理の徹底、業務効率化及び諸経費削減などの各施策を継続して実行し利益率の向上に努めてまいりました。しかしながら、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、大型物件が減少し、受注予定としていた工事物件が延期・中止となるなど、大変厳しい状況が続いております。

その結果、売上高は14億97百万円(前年同四半期比70.2%)、営業利益は38百万円(前年同四半期比16.7%)となりました。

(太陽光発電売電事業)

2020年12月に広島県北広島町太陽光発電所(発電容量約0.6MW)が完成し、売電を開始しました。これにより当第3四半期会計期間末現在の太陽光発電所は3県17ヶ所、総発電容量は約13MWとなり、いずれも順調に発電を続けております。

その結果、売上高は3億51百万円(前年同四半期比103.3%)、営業利益は1億93百万円(前年同四半期比110.7%)となりました。

(ライフクリエイト事業)

ゴルフ場部門におきましては、感染リスクの少ない屋外スポーツとして、来場者が増加いたしました。また、スマホ決済システムのラインナップを更に充実し、お客様の利便性の向上を図り、来場者数の増員対策と併せて、建物施設及び周辺設備の修繕に取り組んでまいりました。

フィットネス部門におきましては、会員様に安心してご利用いただける環境を第一に考え、新型コロナウイルス感染症防止対策の徹底を図っておりますが、感染症拡大不安による入会者の減少、会員の退会・休会、利用自粛等により引き続き厳しい事業環境が続いております。

その結果、売上高は2億93百万円(前年同四半期比111.7%)、営業利益は16百万円(前年同四半期は営業損失2百万円)となりました。

なお、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、フィットネス部門において店舗の将来利益計画の見直しを行った結果、減損損失73百万円を計上いたしました。

(不動産事業)

賃貸マンションの定期的な保守メンテナンス及び住宅設備機器の更新を行うことで入居率及び定着率の向上を図ってまいりました。

その結果、売上高は67百万円(前年同四半期比98.7%)、営業利益は44百万円(前年同四半期比97.3%)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期会計期間末の総資産につきましては、前事業年度末と比較して64百万円減少し141億61百万円となりました。その主な要因は受取手形及び売掛金が4億43百万円、電子記録債権が1億5百万円それぞれ増加し、完成工事未収入金が1億51百万円、その他(流動資産)が1億70百万円、建物及び構築物が1億25百万円、機械装置及び運搬具が2億68百万円それぞれ減少したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期会計期間末の負債につきましては、前事業年度末と比較して1億12百万円減少し103億85百万円となりました。その主な要因は支払手形及び買掛金が1億1百万円、短期借入金が4億75百万円それぞれ増加し、未払法人税等が67百万円、長期借入金が5億65百万円それぞれ減少したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末の純資産につきましては、前事業年度末と比較して47百万円増加し37億76百万円となりました。その主な要因は利益剰余金が32百万円増加したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期累計期間における業績は、2021年6月11日の「特別損失の計上及び2021年10月期第2四半期累計期間業績予想と実績値との差異並びに通期業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期業績予想(営業利益、経常利益及び当期純利益)を上回っておりますが、木材事業における原材料価格の高騰による製品販売価格への転嫁の可否や工場の稼働状況、新型コロナウイルス感染症による影響等、経済情勢等に不透明な要因があることを考慮し、現時点において業績予想を据え置いております。

今後、業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年10月31日)	当第3四半期会計期間 (2021年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	612,830	581,210
受取手形及び売掛金	1,318,066	1,761,285
電子記録債権	59,675	165,493
完成工事未収入金	1,879,912	1,728,029
リース未収入金	1,414,073	1,494,671
商品及び製品	105,542	151,298
仕掛品	21,150	102,471
未成工事支出金	55,851	36,482
原材料及び貯蔵品	209,946	236,801
その他	278,089	107,300
貸倒引当金	△446	△603
流動資産合計	5,954,691	6,364,442
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,585,908	1,460,512
機械装置及び運搬具(純額)	3,019,952	2,751,228
土地	3,042,051	3,054,651
建設仮勘定	84,074	—
その他(純額)	333,606	360,616
有形固定資産合計	8,065,593	7,627,009
無形固定資産	26,813	18,532
投資その他の資産		
投資有価証券	62,931	77,417
その他	118,773	76,718
貸倒引当金	△2,028	△2,292
投資その他の資産合計	179,676	151,843
固定資産合計	8,272,084	7,797,385
資産合計	14,226,776	14,161,827

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年10月31日)	当第3四半期会計期間 (2021年7月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	640,288	742,152
工事未払金	241,336	329,658
短期借入金	425,000	900,000
1年内返済予定の長期借入金	1,274,264	1,263,825
未払法人税等	74,017	6,369
賞与引当金	62,048	31,042
完成工事補償引当金	99	163
その他	1,253,847	1,190,562
流動負債合計	3,970,901	4,463,773
固定負債		
長期借入金	6,036,953	5,471,193
退職給付引当金	131,944	137,444
資産除去債務	7,899	7,946
その他	350,410	305,455
固定負債合計	6,527,207	5,922,038
負債合計	10,498,108	10,385,812
純資産の部		
株主資本		
資本金	688,390	691,922
資本剰余金	516,390	519,922
利益剰余金	2,519,263	2,552,211
自己株式	△1,094	△1,094
株主資本合計	3,722,949	3,762,961
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	6,070	14,115
繰延ヘッジ損益	△351	△1,061
評価・換算差額等合計	5,718	13,054
純資産合計	3,728,667	3,776,015
負債純資産合計	14,226,776	14,161,827

(2) 四半期損益計算書
第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自2019年11月1日 至2020年7月31日)	当第3四半期累計期間 (自2020年11月1日 至2021年7月31日)
売上高	6,779,286	7,086,216
売上原価	5,613,459	5,942,524
売上総利益	1,165,826	1,143,691
販売費及び一般管理費	896,589	966,887
営業利益	269,237	176,804
営業外収益		
受取利息	6	5
受取配当金	1,666	1,728
仕入割引	637	1,451
受取賃貸料	3,600	3,600
補助金収入	—	51,116
その他	5,558	17,514
営業外収益合計	11,468	75,415
営業外費用		
支払利息	44,709	39,343
その他	14,154	17,148
営業外費用合計	58,863	56,491
経常利益	221,842	195,728
特別利益		
固定資産売却益	104	—
特別利益合計	104	—
特別損失		
減損損失	—	73,071
特別損失合計	—	73,071
税引前四半期純利益	221,946	122,656
法人税、住民税及び事業税	38,081	30,082
法人税等調整額	52,889	24,878
法人税等合計	90,971	54,961
四半期純利益	130,975	67,695

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する会計上の見積り)

第3四半期会計期間末時点で入手可能な情報を踏まえて、前事業年度の有価証券報告書に記載した仮定の一部を以下の通り変更し、固定資産の減損損失認識要否の判定、繰延税金資産の回収可能性などの会計上の見積りを行っております。

当社のライフクリエイティブ事業セグメントにおけるフィットネスクラブでは、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、休会又は退会された会員数が元に戻るには相当の期間を要するものと考えております。当該状況による影響は、当事業年度以降においても一定期間続くものとして仮定の一部を変更しております。なお、その他の事業セグメントの仮定につきましては、重要な変更はありません。

なお、見積りに用いた仮定は不確実性が高く、新型コロナウイルスの感染が拡大し、経済への影響がより一層深刻化、長期化した場合、当社の財政状態及び経営成績に影響を及ぼす可能性があります。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間(自 2019年11月1日 至 2020年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					
	木材事業 (千円)	ハウス・ エコ事業 (千円)	太陽光発電 売電事業 (千円)	ライフ クリエイティブ 事業 (千円)	不動産事業 (千円)	合計 (千円)
売上高						
外部顧客への売上高	3,975,470	2,132,412	339,774	262,980	68,649	6,779,286
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	3,975,470	2,132,412	339,774	262,980	68,649	6,779,286
セグメント利益又は損失(△)	20,335	229,200	175,084	△2,665	45,376	467,333

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	467,333
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△198,095
四半期損益計算書の営業利益	269,237

(注) 全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ 当第3四半期累計期間(自 2020年11月1日 至 2021年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					
	木材事業 (千円)	ハウス・ エコ事業 (千円)	太陽光発電 売電事業 (千円)	ライフ クリエイト 事業 (千円)	不動産事業 (千円)	合計 (千円)
売上高						
外部顧客への売上高	4,875,747	1,497,985	351,088	293,667	67,727	7,086,216
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	4,875,747	1,497,985	351,088	293,667	67,727	7,086,216
セグメント利益	76,456	38,204	193,863	16,102	44,151	368,778

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	368,778
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△191,973
四半期損益計算書の営業利益	176,804

(注) 全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						全社・消去	合計
	木材事業	ハウス・ エコ事業	太陽光発電 売電事業	ライフ クリエイト 事業	不動産事業	計		
減損損失	—	—	—	73,071	—	73,071	—	73,071